【大正十年四月二十二日第三種郵便物認可】　昭和三年九月十九日　（水曜日）　磐城新聞　第二千三百四十四號　（一）

（十八日ハ休刊）

磐城新聞

休刊｛大祭、第一、第三日曜
定價｛壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

噴火山上の民政黨（五）

安達一派の跋扈とその策動

森田代議士

本稿は民政黨を脫黨した森田代議士が今回公にせる民政黨の內容である。

安達氏一派の意の儘に動く民政黨は、唯既成政黨の年中行事を繰返すに止り、明けても暮れても政權爭奪の爲に肝膽を碎くのみである。而して安達氏は民政黨の最高指揮者たらんが爲に、汲々として親兵を製造するに勗め、剛强にして自己の意思に從はざる者は悉く排斥し、黨內の樞要地位は全部腹心の徒と其傍系に屬して自己と最も親善なる人々を配置して、次の政權を獲得すべく策動しつゝあるのである。試みに安達系に屬する者を仔細に點檢せよ、彼等は悉く阿諛辨佞の徒にして硬骨を以て鳴る者は一人も之を發見する能はず、甚だしきに至つては多年の恩人を裏切りその人を惡口することに依つて黨首の歡心を得て推挽を受けて官職に就きたる者もある。而かも[illegible]安達黨の錚々たる者なりと云ふに至つては驚かざらんと欲するも豈夫れ得べけんやである。私は此一事に依つて安達氏の周圍に集りたる人々の人格知識並にその手腕の程度を測定することが出來ると思ふ。要するに安達黨一派[illegible]する者は民政黨の爲に決して重きを爲すものにあらず、而して彼等は元より勢力に阿附するの徒、安達氏にして一朝失意の地に立たんか、彼等は弊履の如く安達氏を捨て去るの輩、安達氏に代るべき他の新勢力に走るのみ。[illegible]榮達を計る如き者を賴りとして策動し之が爲に多數の敵を製造しつゝある安達氏等も亦憐むべき者にあらずや。而して安達氏等策謀中の惡劇は特別議會中の議會罐詰運[illegible]特別議會に於ける民政黨がその立黨の聲明を裏切つて、政權爭奪の餓鬼道に陷りたるを見るに及んで浩嘆之を久ふした。若し民政黨に眞の人物あらば國民の同情を引着け、其信任を確保する爲に新し陣容を整へ國民の滿足すべき政綱政策を掲げて特別議會に臨むべきものであつた。然るに民政黨には獨力を以て天下を取るだけの實力もなく、又取りたる天下を維持して行くに付ての確信もなく、況んや天下を取りたる後に實行すべき政綱政策の持合せもなく、唯漫然政友會に取つて代らんとする慾望の奴隷となつて、一票乃至數票を勝ち得んが爲に、議會の最小會派たる明政會の爲に自由自在に翻弄せられて識者の嘲笑を買つたのである。明政會果して何者ぞ、政治外交に對して何等の抱負經綸もなく、會員中其一人を除けば何れも新參の議員にして事情に通ぜず、政治の驅引には全然素人である。而かも其數僅かに七人にして大なる民政黨に比すれば其の三十分の一に過ぎざるものである。而かも此少數の新參者の爲に擒縱せられて、最後の五分間に背負投を食はせられたる醜態は大象が狡兎の爲に引張廻されたと同樣である。民政黨が此醜態を演ずるに至りたるは全く政權慾に眼が眩んだからである。露骨に云へば黨少數幹部が大臣、次官となり、政府の要部を占領せん爲に策動した結果である。而して民政黨が天下を取つても遂に恵まるゝ機會―役人になれず、總務にもなれず、又利權を與へられず―なき多數の議員は此等少數幹部の犧牲となつて其權利を蹂躪せられ其自由を束縛せられ數日間罐詰にせられて、囚人同樣の憂目を見たるはまことに氣の毒の至りである。私は彼等民政黨の代議士が拂ひたる犧牲の頗る大なりしを見て哀しき諸氏の不幸に同情せざるを得ないのである。

民政黨の幹部一度口を開けば、政友會內閣は在職一年有半無爲無能にして何等の施設を爲す能はず、此內閣の存續すること一日長ければ、國家は百日の損をすると云ふも政友會內閣は民政黨の攻撃に對して自己を守るに急なる爲に、其政策の實現に專念する餘裕がないのであるから實業に從事する多數の國民は政府對民政黨の苛烈なる政爭が國家の進運を妨げ彼等國民に對して多大の損害を與へたることに對して、頗る之を憤慨して居るのである。民政黨は實業家の憤慨に對して罪を政友會に歸するも、政友會をして此怠慢を敢てせしめる罪惡の一半は、當に民政黨が負擔すべきものである。而して民政黨が負擔すべき責任の全部は、安達氏と云はず、江木氏と云はず、又町田原兩氏と云はず所謂最高幹部として、政權の爭奪に沒頭する人々が負ふべきものである。而して政爭斯の如く甚し、苛烈なるに至れば、政黨政治を希望した國民は却て官僚政治時代に於ける國運の比較的に長足の進步を爲したることを追懷して、政黨政治に代るべき何物かが現はれて、より善き政治が行はれることを欲求するに至るであらう。若し國民多數が之を希望するやうになれば、憲法政治は破裂することゝなり、由々しき大事を惹起することになるであらう。故に政爭激烈なる必然の結果として危險の淵に臨みつゝある國家を救ふ手段は、既成政黨の總てを打破して一切政治[illegible]因はるゝことなき新政黨を作るか、然らざれば[illegible]二派の爭ひを爲しつゝある政民兩黨の間に介在する政黨を作つて、此兩黨を牽制するかの二途その一あるのみ、床次氏が民政黨を脫黨して第三黨を作らんとしたるは、國家の急を救はんが爲に、比較的容易なる方法を撰みたるものである。床次氏の脫黨を非難する者はその脫黨の動機と民政黨の內情を知らざるものである。

明日の吉凶
舊曆八月六日
新曆九月十九日

▲一白　今は低くとも次第向上す失望することなかれ▲二黑　時折り不安に襲はるゝとも撓まずはげむべし▲三碧　上に逆らはず下に撫育するときは德大に進む▲四綠　遠方の便りは當にならず商業注意すべし▲五黃　內外の調和を保ち先走らぬやうにすべし▲六白　放慢なれば物亂る手を詰め氣を締むべし▲七赤　目上の言を尊重するときは引立てを受くべし▲八白　外に出で苦心するも効なし內に在るが安全▲九紫　運氣は[illegible]なる樣に見えても不時の失敗あり

講談

幕末秘帖　狂戀亂心

(44)　渡邊默禪作　宮野歌春畫

ちり〴〵に碎けた心が、呼戻されるやうに一ツ所へよつて來ると、漸とのことでた人らしい感覺がする。

「あゝ、どうしたら可いだらう、ほんとうに飛んでもないことになつたものだ、如何せう〳〵」

考へると[illegible]殺しにされた當時の悲慘な光景が眼にまざ〳〵と想像される―白刄の光―血―もがく痛々しい叫聲。

ぞつとして額を抑へた

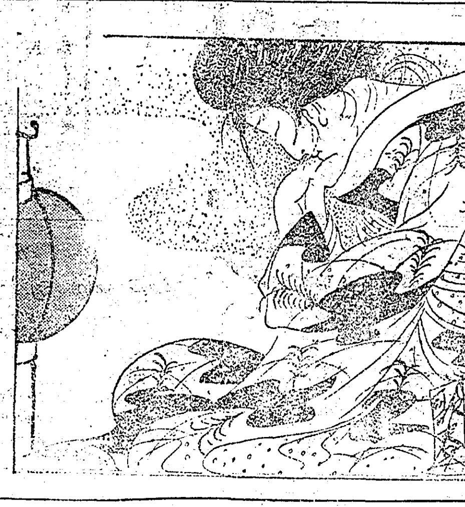
「こんな情ない御最後をなされたのも、原因はと云へば此私から出たこと―發覺私が手を懸けて殺したも同然、アゝ恐ろしい罪、造つた[illegible]恐ろしい罪は[illegible]此の罪障は如何したら消へるだらう、アゝ濟まない[illegible]梅さま、梅さま、[illegible]お許し遊ばし」

と溢る淚の下から、手を合せて伏拜む、その背を怨靈などに鞭打たるゝかのやう得堪へぬ苦悶を肉の底に感じた。

近くの廊下先で五つの知らせ、火の廻りの拍子木がかち〳〵と聞えた

雪江と一つ部屋に居る腰元二人は四ツといふ時間に奥から退つて來た。雪江はそれと交替して夜詰になる番である。

見ると影がない、何處に行つたのかと手近を探して見たが行方が解らぬ。漸く騷ぎが大きくなつて奥女中總出の搜索各部屋々々の隅からかはやの中、仕切を越ねて表方まで問合せたけれども杳として消息を知らぬ一体どうしたのであらうともり〳〵の評定に疑惑の懷を繰かへしつゝ其の夜を明した。



朝になつて奥庭の栞戸が開いてゐるのを認めた。[illegible]塀に切つてある不淨門の錠を外し誰やら密かに去つた影跡のあることも發見された。續いて雪江の遺書が出て來た。それは部屋の小机の上へ硯箱を載せて置いてあつたので、始めて解つた。雪江は前夜の四つ前に庭へ下りて、滅多に開けたことのない不淨門から逃走したのである。

遺書は奥方へかすかに宛てたもので、先づ長年世話になつたことを謝してから梅[illegible]新徵組に慘殺されたことを記し、自分に取つてはおろそかならぬ恩人である[illegible]その恩人が自分故[illegible]原因で其[illegible]傷ましい橫死を遂げ[illegible]あつて見れば取も直さず我が手に懸けて殺したも同體である。考へれば考へる程己が罪の空恐ろしくいかにしても此の儘知らぬかほで過す譯には參らぬ、就ては茲に一念發起身を墨染の御法にさゝげて峯の嵐谷の水に稱名觀念の眼を閉ぢ永く亡き人の菩提を弔ひたい覺悟、不忠の咎はお許しありて浮世の御暇賜はりたくと情を籠めた奔り書、外に奥中の手紙をも添へてあつた。

雪江は多くの女中の裡で一番奥さまの御氣に入りであつた。それだけ餘計に奥さまを驚かした。

「平馬を呼べッ」

何事にも平馬は出る少し奥向で面倒な問題が持上ると例でも平馬老人が御前に召喚される

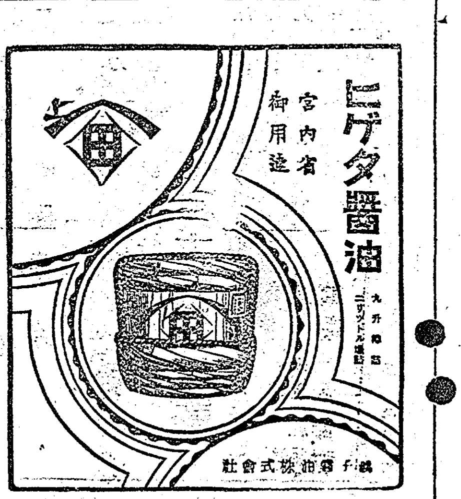
早速の出仕に所以を聞いて平馬もそれはさばかり吐胸を突いたが、一應事情を取糺すべき必要があるので證人として仲間頭の與平を呼出した。與平は庭先から怖る〳〵出頭に及ぶや平馬は緣側に進んで取調にかゝる。

座敷の方には女中どもが耳をたてゝ傍聽、どちらも乾枯びた爺さん、色氣がないと思つたであらう。

乳の出る大妙藥アリ
平五　山野邊藥局

廣告

平町田町
高久病院
電話五一三番



宮內省御用達
ヒゲタ醬油
銚子醬油株式會社

平町田町
特約店　廣瀨支店
電話五四番

レコードハ此のマーク！を
HIS MASTER'S VOICE
TRADE MARK REGISTERED
肉聲のビクターレコード
販賣店　曾田時計店
平町四丁目（電話三六三番）
店員募集

外科　外科一般　耳鼻科　花柳科
婦人科　產科　婦人科
內科
X光線科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

外科新設
外科專門　部長　藤本順
診療開始
產科　婦人科　院長　木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町五丁目（釜屋橫町）
須藤まつの

平町紺屋町
吉田眼科醫院

優秀なる最新型腕卷時計

◎クローム側　白金代用側

十型　十石入アンクル	七圓五十錢
十型十五石入上アンクル	拾壹圓
九型　十石入上アンクル	九圓五十錢
九型十五石入上アンクル	拾三圓
八型十五石入　アンクル	拾貳圓
八形十五石極上アンクル	拾五圓

◎十八金側（金質保證）

十型　十石入上アンクル	拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル	拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル	拾五圓
八型十五石入上ヤンクル	拾七圓

鐵道省御用
平町五丁目（釜屋商店前）
金光堂時計店
電話七三六番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豐富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフヱー幸樂
平町六丁目　電五三九番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

醫院開始
◎內臓外科
◎外科一般
◎花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

健康第一
健康は胃腸から
ホシ胃腸藥
クスリはホシ
星製藥株式會社
東京京橋

愈々期節に入つて 火の元を用心

万一の場合の心得を 猪狩平署長の談

平署ではそろ／＼火災期に向つて來たので之れが豫防その他につき各町村駐在巡査に命じ不斷の努力を拂つてゐるが猪狩署長は災害時に於ける一般の注意につき「萬一の場合も金錢物質に未練をもたぬことは一番宜しいこの點は男子より執着の多い婦人の特に心得ておきたい事で近所に

火事が起つた時は

先づ風向を考へて、老人小兒病人などを風上の安全な場所に移す事、貴重品は平素からなるべく一まとめにしてたき、場所を定めてたき眞つ先に持ち出す樣に單衣物や敷布を急場の時風呂敷代物になると心得てたきたい、金目のものとふだん物と別にしておき暗の中でも判明する樣にしてたきませんと、近火の場合多くは電燈の消える事を承知し、混雜にまぎれて盜賊に襲はれる事も用心せねばならぬが向煙が屋內にまはつた時濡手拭で口鼻をおさへて這入つて逃げ出し

盜難氣付

いてもなまじに遭つた時手出などせぬ樣頓智をもつてなるべく損害を少くする樣に盜賊の去つたあとは現狀をその儘にしてたいて、最寄の警察署に屆け出て欲しいと

勿來素謠會

出席四十餘名

勿來炭礦主催の素謠會は十六日午前九時より同町窪田才丸屋旅館に開催出席四十餘名番組は左記の外祝言「花筐」あり盛會を極め午後五時散會した

菊慈童、八島、敦盛、土蜘蛛、大佛供養、邊、橋辨慶、七騎落、小督、熊野、俊寛、鐵輪、安達原

送炭制限以來 貯炭減法に減る

實施効果の良好に 常磐炭活氣付く

常磐炭礦では炭界不振回復策として既報の如く七大炭礦聯盟の下に八月から十月まで三ケ月間を協定期間として送炭調節五分減の外に額出炭一割の制限を行ふと共に各炭礦とも山元貯炭の封鎖を實施して以來すでに一ケ月半を經過したが右回復策施行の結果最近やうやく相當の効果が現はれた模樣で常磐炭界での王國を誇る磐城炭礦についてみれば現在貯炭高有煙炭約八萬四千噸無煙炭約五萬一千噸で送出炭調節制限實施以前の七月に比較すれば前者は約七千噸後者約七百噸合計約八千噸の貯炭減を見せてゐるが入山古河大倉等各炭礦も相當効果を見た模樣である

石城郡下の 米收獲高

郡農會の調査

石城郡農會で調査した昨年度稻作付反別及び收穫高は粳米七千八百十六町五反歩此の收穫十五萬五千三百四石、一反當り收量一石九斗八升、七合糯米九百七十一町八反、一萬七千五百三十五石四斗、反當り一石八斗二升、陸米百六十六町九反一千九百二十九石六升、反當り一石一斗五升六合合計作付反別八千九百四十五町二反、總收穫高十七萬四千七百六十九石であるが本年は土用中殆んど連日連雨に依つて始終し相當收穫減を豫想されてゐたが其後の天候回復した爲め昨年に比し大差ない模樣で一般に樂觀されてゐる

昨今の涼しさは 當然の冷氣

これからは日毎に低温 小名測候所發表

石城郡地方は連日九十度の酷署に惱まされてゐたが十六日夜來降雨となり冷氣が增したが原因について小名測候所の發表によると一昨日來東北支那方面に高氣壓が現はれ密波が滿蒙より次第に朝鮮北海道方面にかけて擴がつてきてゐるのでその影響をうけて俄に寒氣がましてきたものだが若昨朝の寒氣も昨年度並に例年とは殆んど大差なく昨今の殘暑が餘りに嚴しかつたので俄に冷氣が感じたもので農作物の影響と一般が心配してゐるようであるがこの溫度が通常で農作物には被害がなく今後の氣溫は此程度の氣候になるであらう

清酒品評會に 協贊準備

平町で開催

縣主催清酒品評會は來月十五、十六の兩日に亘り平町元郡役所會議室において開催さるべく右準備として酒井縣商工課長は十九日來平の豫定であると言ふが品評會には弘く縣下の生産品を網羅する勿論各名醸地の參考品を多數陳列する筈、尙當日は主催側より知事各部長關係各課長等臨席來賓として仙臺稅務監督局長縣下各稅務署長縣會議員、酒造組合地方代議員評議員等約百數十名の多數に上る見込で河ではこれがため協贊會樣なものを組織し出席者に對して記念品の贈呈その他相當の款待方法を講ずるものと觀られてゐる

石城

社寺を探りて（四）

鹿島、二俣神社

△鹿島神社

鄉社鹿島神社は鹿島村大字上矢田にありて平町の東方凡そ一里に當る即ち延喜式磐城郡、官社にして武甕槌命を奉祀す、青和記に「貞觀八年常陸鹿島郡神宮司言大神之苗神三十八社在奥陸國菊田郡一磐城郡十一」之々とある、其の一なるが十一座中に此が主なる社なりければ、式にも載せられ今に名古たるなり、磐城風土記に「矢田村鹿島大明神景雲二年建立　社北有千本松樹　昔鹿島神降奥州鹽釜浦秦爲處故稱草飼千本松　延喜式本郡七社之一也」とあり、維新前は別堂神宮寺に於て神事を掌趣せられたり、田地並に畑地除地鹿島免として同寺に附せらるゝ後神職を設けらるゝに及び更に本社有地に更まる、明治二年官社にせられたるが同五年郷社に昇格以て今日に至る、社殿の構造は極めて簡素なれども境內老樹蒼々として枝を交ひ、古閑趣を備ふ、社寶に矢之根四本、太刀、神鏡を藏す、例祭は陰曆四月八日にして氏子百三十二戶あり

△趣訪神社

鄉社趣訪神社は泉村大字瀧尻にあり、建御名方命祭神を祀る、大同元年當國鎭石が原に勸請せられたり、天文年間大飢饉の爲入字瀧尻の山へ遷座し寛文年中內藤右近氏、平より此の地に移封せらるゝや延寶三年泉の內岩城判官政氏の舊館趾へ勸請、その後板倉佐渡守代りて當地を領するに及び崇拜怠らざりしが延寶年中本多越中守忠如に至り殊に春秋祭祀壯嚴なりき、明治維新に至り鄉社に列せらる例祭五月八日、十月十五日には流鏑馬の神事を行ひ近鄉稀有の盛祭なり祠は神殿、弊殿、拜殿等ありて泉停車場より南方五六町、神域廣潤にして樹木繁茂し、殊に明治三十九年皇太子殿下行啓紀念として之を公園となしたれば一層趣を添へ風致極めて閑雅なり、氏子百八十戶を有し神主は飯塚穗積なり

△二俣神社

小川村大字下小川にあり磐城郡鄕を祀し延喜式神名帳に列す、創設年月遼遠にして詳かならざれども康平五年源義家奥州征伐の砌納めたりと稱する「八股幡八幡宮」の額面寶物として藏せり、社地は小川渠に臨み樹木繁生して閑寂の趣きを備ふ、例祭は九月十五日にして下小川、上平窪兩村より出てゝ笹羅と稱する獅子舞をなすら慣例となし頗る勝齋に執行す、磐城志に天和の頃二森明神を以て式內二股神に定められ夏井川の邊りにて河水こゝにて分岐して流る云々とあり氏子百戶、境內一町二反二畝[illegible]九歩、山林三反三畝[illegible]四歩を有す

事業と人……（六） 技術的の天分

往年機械で磨いた腕 鈴木重助氏

平町の中堅人物として德才兼備、智略縱橫に富む鈴木重助氏を紹介するに當り筆者は最も慎重正確を期するものであるが、或は虎を描かんとして猫となり、猫を描かんとして虎に終るかも知れない事を前提とし、此の點は切に御勘辨を願ひたい、氏は技術家である、飽くまで綿密微細な技術の上に立ち前半生を托した氏の生活は徹頭徹尾合理的にして几張面である、曾つて入山、磐城二大炭礦の機械課に職を奉じたがその實地に當るや明晰なる頭腦と氏の天分とは專門學校出身の技師を遙かに凌駕し、其の實力は斯界の權威として遂ひに機械課長に累進し幾多の難問題を容易に解決して所謂學校出の學士連を瞠着せしめた一事に徵しても氏の專問的力量と天分を窺知することが出來る、後進の途を拓くべく課長の重職を去つた鈴木氏は何思ひけん其の後幾何もなく平町新田町藝妓置屋「三好屋」の主人公となつたのである、然かも氏が係軌を渡る樣な几帳面の生活から一躍粹な營業の旦那になり終つた事は寧ろ晴天の霹れきとして當時を知る者の均しく喫驚を禁じ得ない處であつたが、夫れは恰も往年の內閣書記翰長林田龜太郎氏が官界を退えて待合「トンボ」の旦那になつたのとは其の原因動機を異にした眞面目な實業の開拓である、言行常に人の意表に出でざるはなく而してその行くところ必ず合理的である、勇猛果斷にして常に燃ゆる如き純情とは克く氏の生活を調和し內よく家を收める氏は外人に接し溢れる如き溫情と抱擁力とは直ちに以て德となり信望殊に篤いものがある、平町治の爲めには遠大な卓見を有し常に研究を怠らず事ある毎に細心の注意と努力を惜まざる實に隱れた功勞者である、縣社子鍬倉神社の氏子總代として這般來同社新築工事の爲め東奔西走席温る暇なき努力を拂つてゐる等氏の人格と社界的貢獻とは萬人の今や均しく認める所となつた自らは謙讓の德を以て事に臨むでゐるが氏の將來は政治的に實業的に活目して待つべきものがあろう

事實は相違

植田無盡問題

植田町植田無盡會社が加入者たる白河町長谷川喜平が當選した一千圓を約數ヶ月仕拂はぬ爲め警察部當局で調査中の旨本紙昨夕刊所報したが右長谷川喜平は八月十一日當選したる給付金受取に際し保證人を資力不充分と認め會社は保證人の追加を命じたる爲めその間約一ケ月を要し九月十二日拂込みすみとなり之れ等は寧ろ當然の所要期間で會合等の事實もなく何等問題でない旨判明したので會社、迷惑を考へ同記事を取消すこととした

國有林を拂下げて 町村の財源に

上小川村の五千餘町歩 平營林署で調査

管三部中の國有林所在町村では今回農林省之等所在町村に對し明年度豫算に於て交付金制度を實施せんとして居るので右國有林の一部をして地方の村財源に委讓せられたしと運動を試みむべく各方面に亘り交渉準備中にあると云ふが右に就き平營林署管內の國有林野立木地面積を調査するに要存地三萬五千四百二十七町歩、不要存地二千八百二十八町歩合計三萬八千二百五十五町歩に達してゐる而して最も多きは上小川村の五千二百町歩、永戶村の四千九百町歩、川前村の四千四百町歩等なるが若し右林野の一部收益の委讓か豫定の如く實現さるる事になれば同林野の所在町村は之れに依つて幾多の財源を獲らるるわけで之れが成行きは各町村から非常な注目を拂はれてゐる

郡南地方の 晩秋蠶

發育頗る良好

石城郡南地方の晩秋蠶は四齡二日前後にて掃立後異夏をしのぐ高溫の繼續から恰も初秋蠶の如く發育非常によく桑葉も近年珍らしい作柄に遺蠶等は見られぬ好成績を示してゐるから上族は廿四五日頃の模樣で相場も漸騰氣配であり目下のところ增收を豫想されてゐるので一般養蠶家は樂觀の體である

明年五月を前に 植田の町議戰

町會議員の增員も申請 約倍の立候補

植田町議の定員は現在十二名であるが前回の選擧に於ては既に十八名の定員となすべき人口上の資格ある所から六名の增員方を縣に申請せるが過般の人口調査が標準となつてゐたため僅少の差で增員出來ざる事となり十二名制度に依つてゐたがそれ以來人口相當に增加を示してゐるので增員再申請中なるが同町の町議改選は明年六月廿九日まで遲くもその時期までには當然十八名改正せらるゝであらうから現在の年數だけは外に當選出來、譯一假りに倍數の名乘を上るものがあるとすれば三十六人となりとに角も三十八は出馬確實と見られ今から準備を開始したものもあると

濱口本邸に 人糞

飛んだ見舞

（十八日正午東京電話）民政黨總裁濱口雄幸氏の本邸（久世山）玄關先に十八日午前九時酒樽四斗入れ四本を運搬して來たトラツクありと見るや數名の人夫は洋服を着けた四十格好の男の指揮により件の酒樽內より人糞を汲み出し之れを玄關先より庭口一帶に撒布し何處ともなく姿を消したが惡戲としては時節柄念の入り過ぎたものとして當局では何人の所爲であるかを調査中である

農會技術員會議

十九日元郡役所內に 事業方法を協議

石城郡各町村農會技術員並に農會事業主任者協議會は十九日午前九時より元石城郡役所會議室に於て開き左記事項を附議する

一、農業經營改善指導事業の有効なる施設方法に關する件

二、農産物販賣斡旋に關する件

三、農會に於ける事業收入の增加を圖る良策に關する件

四、自給肥料增産に關する件

五、農事實行組合振興方策に關する件

六、養鷄組合設立に關する件

外數項を附議し尙は來る十一月上旬を期し縣農會縣農會講習同窓會聯合主催農會競技大會開催の件及び縣農會の斡旋に基き本年度より東京某會社と契約を結びビール麥の栽培をなし郡下各農村の收益向上を計る事等を附議する筈である

女郎が露拂ひ

子鍬倉神社の例祭に 氏子間の問題

平町縣社子鍬倉神社の大祭に際し神輿渡御の當番鎌田町靑年團では鎌田遊廓から五名の娼妓を選び手古舞の扮裝をさせて神輿の先ぶれをなさしめたが、最近になつて同神社の氏子中に神輿渡御に際して遊女を選んで露拂ひをさせることは神樣に對しておそれ多い事であるとして鎌田靑年團が一般に對して謝罪する事を希望してゐるのに對し一方鎌田側では遊女だから神輿と一しよに歩く事が出來ないと云ふことはあるまいと之に對抗し謝罪等は絕對にないと强硬に主張してゐるが此の問題は氏子間に於て相當八釜しく論議されてゐる

白米値下

平の米穀商 米突賣り實施

平地方面の白米小賣相場は過般の東京期米暴騰當時値上げを行つたまゝ白米上三十八錢、中三十七錢、下三十六錢一升の相場、玄米八斗二十三圓九十二錢であるが近く平町米穀商組合では役員會を開き適當なる時期に於て値下げ、行ふ相談をなす由である尙は同地方は從來の桝目賣りを廢して來る十月一日からキロ賣りを實施すべしと

傳染病患者は 炭礦が一番

平署の調査

平警察署管內今年一月以來の傳染病發生件數は三百七十四名の多數にて中最も多數を占めたのは腸チブスの二百三十名であるが腦脊炎の三名發生したことも縣下に於てレコードであらう更に發生地に就て見るに第一は內郷村次いで平町湯本、好間、言ふ順序となるが何と言つても炭礦所在地が一番多い要するに炭礦所在地は空氣が惡く衞生狀態の劣惡を示してゐる平署に於ては特にこの點につき意を用ひ各町村と協力して特に衞生設備の改善を圖る筈である

平第一校の 競技大會

十月七日開催

石城郡教育部會第二區平第一校では來る十月七日磐城中學校グラウンドに於て兒童競技大會を開催するが競技項目左の如し

△尋五男百米幅跳△同女五十米男女同上△尋六、五、男八百米リレー、デツトボール、同女四百米リレー、デツトボール△高一男百米、二百米、二段跳△同二百米走幅跳△高二男二百米、四百米、三段跳△同女百米走幅跳△高一、二男メドレーリレー、デツトボール、同女八百米リレーデツトボール

募集

二十才以上三十才以下の男子にして外交に趣味を有し體格强健の者、高給優遇す、希望者は履歷書持參本人午前中來社あれ

磐城新聞社

營業部

記者募集

年齡（二十才以上二十五六才まで）

學業（中學三年修業程度（學歷の有無を問はず）

右至急募集す、希望者は履歷書持參本人午前中來社も、一月五十圓を給す

委細面談

磐城新聞社

紅燈街

平町鎌田遊廓は一年中の書き入れ時である舊盆も過ぎて再び大太鼓の音も聞かれず靜かになつたが湯本町の藝妓街や南町の酌婦街に比較して一番景氣のよかつたのは矢つ張り遊廓で盆踊の裝いをした若者が集まり舊盆中は夜を徹して騷いだ程である、それでも例年よりは客の數も賣上げも少かつたそうであるが、娼妓が當初の四倍から五倍以上の客をとつてゐた事を明かに物語るものは此の盆中に身體を害して休業し或は平治療院に入院した者の多い事で鎌田遊廓の娼妓四十名の中新入院患者五名、休業者五名と云ふ有樣である

思想取締

御大典を前に 平署當局で

御即位式期日切迫と共に平警察署では管內思想要視察人並に刑事要視察人の監視取締に忙殺されてゐるが中央方面からも相當入り込んで居るものゝ內行衞を晦ましてゐるものもあるのでいよ／＼平署では嚴重取締を行ふべく手配中である

時言

濱口民政黨總裁邸に、人糞を見舞つた一怪漢がある、狂人白痴の類ひならず、餘りに非文明すぎる暴擧だ

□

國有林野を拂下げ、町村財産の增殖を計るは最も良策なり、今にして救ふにあらざれば民の家遠からずして煙絕へん

□

農會技術員會議の揭げる協議題や常に多くして其の實蹟更らに見る可きものなし、徒らに理論と形式にのみ流れるな

□

火災季節到る、火の元戶締りに注意せよ